

伝統・文化

TRADITIONS & CULTURE

平安時代初期や室町時代の県指定文化財・史跡をはじめ、無形民俗文化財の伝統芸能もあり、この地域を物語る史実が多く残ります。

観音寺

延喜17年(917)慈眼阿闍梨の創建と伝えられています。正観音菩薩坐像は寄木造りの小像で、南北朝時代の墨書銘を持ち、県指定文化財となっています。秘仏なので17年目ごとにご開帳され、その時は地区をあげての大祭が行われます。



正観音菩薩坐像(県指定文化財)



諸輪の棒の手・囃太鼓 (町指定無形民俗文化財)

諸輪地区に伝わる伝統芸能で、300年余りの歴史があります。棒の手は、白鳥神社で秋の豊作を感謝する毎年恒例の秋の大祭で奉納されます。囃太鼓は、大太鼓、小太鼓を備えた囃台3台が、夏の観音祭りに白鳥神社から観音寺までの郷中を打ちならして奉納されます。



祐福寺

鎌倉時代の建久2年(1191)、源頼朝の家臣・宇都宮頼綱入道蓮生の創建。達智上人が祐福寺七堂伽藍を完成させました。

祐福寺勅使門(県指定文化財)

室町時代の大永8年(1528)、後奈良天皇の勅使左中將経広卿を迎えるために建造されました。

円光大師画像(県指定文化財)

浄土宗祖法然上人画像の原本といわれている知恩院本や嵯峨二尊院本に近似しています。

遣迎二尊画像(県指定文化財)

浄土信仰を現す二河白道図を2体の仏像によって象徴したもので、二河白道思想を象徴した二尊像並立像は、極めて珍しいものです。



祐福寺勅使門(県指定文化財)



円光大師画像(県指定文化財)



遣迎二尊画像(県指定文化財)



灰釉鳥鈕蓋

黒笹七号窯 (県指定文化財)

奈良・平安・鎌倉時代の700年間、この地は陶器で繁栄しました。東郷美化センターの中にあり、見学できます。須恵器や灰釉陶器を焼いた平安時代初期の窯跡で、出土品には碗や高杯など数多くあり、中でも灰釉鳥鈕蓋は注目すべき作品です。

東郷の民話

東郷町には古くから地域に伝わる民話があり、東郷町文化財保護委員会の編集により絵本になっています。ここで紹介する絵本は、町立図書館(町民会館内)でご覧いただけるほか、生涯学習課(町民会館1階)で販売しています。



絵本“東郷の民話”第1巻「知々釜のつぼ」

東郷町大字和合(旧和合村)に伝わる雨ごいの民話です。

絵本“東郷の民話”第2巻「身がわり薬師さん」

東郷町大字春木の部田地区(旧部田村)に伝わる民話で、登場する神仏、人物、場所も実在のものばかりです。

絵本“東郷の民話”第3巻「守り輪の観音さま」

東郷町大字諸輪地区に伝わる民話です。観音様は現在でも地域の人々に親しまれています。